



おびひろ
動物園

動
跡
「どうせき」

60th

Obihiro Zoo's History

動
跡
「どうせき」



おびひろ動物園六十年記念誌

おびひろ動物園60年記念誌



60th Anniversary
Obihiro Zoo

c o n t e n t s

- 開園60周年を迎えて 1P
帯広市長 米沢 則寿
- おかげさまで60周年 2P
おびひろ動物園 園長 稲葉 利行
- 園内マップ 3-4P
- 飼育動物紹介 5-7P
- 動物園60年のあゆみ 8P
- 1960-2012 年表 9-29P
- 50周年記念事業開催 30P
- 2013-2023 年表 31-52P
- チケット・パンフレット 53P
- 入園料・入園者数の推移 54P
- 年間イベント 55-56P
- 伝える ひろがる 動物園 57P
- 動物園の魅力アップに向けて 58P
- 支える つながる 動物園 59P
- 動物の幸せとは 60P
- Memories 61-63P
- 編集後記 64P



市長挨拶

Message from the mayor

開園60周年を迎えて

帯広市長 米沢 則寿



おびひろ動物園が本年、記念すべき60周年を迎えましたことは、誠に喜ばしい限りであります。

当園は、昭和38年7月に札幌市円山動物園に次ぐ道内2番目の動物園として開園し、十勝・帯広はもとより、道内外の多くの皆様に親しまれ、幼児からお年寄りまで幅広い年代の皆様にご来園いただいております。

令和2、3年度は新型コロナウイルス感染拡大を受け、全国の動物園で臨時休園を余儀なくされるなど、来園者数の減少がみられましたが、当園では比較的、来園者数の落ち込みは緩く、普段より近隣のファンに支えられた、地域に根付いた動物園であることを実感しております。昨年度は開園以来の来園者数が延べ1,000万人を超え、これもひとえに、市民の皆様をはじめ、多くの来園者の方々、並びに関係される皆様の深い愛情とご理解、ご協力の賜物と心より感謝申し上げます。

近年では、施設の老朽化や動物福祉、社会教育施設としての役割など、多くの課題や使命を抱えております。そのような中、今後の動物園に求められる役割や魅力づくりの方向性について議論を交わし、その結果を反映した「おびひろ動物園の魅力アップに向けて（方針）」を令和2年に定め、現在は方針に沿った、十勝・帯広の特色を活かした展示や楽しみながら学べる施設機能の充実などの取組みを進めております。

60周年を迎えた今年度は、ご寄附によるビジターセンターの整備をはじめ、十勝の開拓で大きな役割を果たした「ばん馬」を導入しての「馬ふれあい舎」の整備や、東エリアの利便性向上のため、災害時には被災地域等に移動して活用できる、自立型可動式ハウスによるUDトイレの整備を行うとともに、キリンの飼育環境と展示環境の改善を図るため、来年度の完成を目指して「新キリン舎」の整備を進めてまいります。

このたびの節目を契機に、動物福祉に配慮した環境づくりや展示の充実に向けて、さらなる整備に努めていくとともに、情操・環境教育、憩いの場として、多くの方に親しまれ、末永く愛される動物園づくりに一層の努力を続けてまいりますので、今後とも皆様方の変わらぬお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

園長挨拶

Message from the Zoo director

おかげさまで60周年

おびひろ動物園 園長 稲葉 利行



今年、おびひろ動物園は、おかげさまで60周年を迎えることができました。

昭和38年に北海道内2番目の動物園として開園して以来1,000万人以上の来園者にお越しいただきましたこと、並びに、地域住民の皆様から、ビジターセンターの建設寄附をはじめ、多くのボランティアの方々による園内清掃や施設塗装、看板改修などの奉仕活動、「おびひろ動物園ゆめ基金」へのご寄附など、地域の皆様に支えられ、多大なるご支援をいただいておりますことに、心から感謝申し上げます。

令和2年3月に、開園当初からのシンボリックな存在であったインドゾウの「ナナ」が死亡するなど、高齢の動物が天寿を全うしていく一方で、ゴマファザラシやチンパンジー、アミメキリンの子供の誕生、アメリカバイソンやベニコンゴウインコの若いのがいの仲間入りなど、動物たちも少しずつ世代交代を続けています。

近年は、世界的に動物福祉への対応が求められており、令和2年に魅力アップに向けた方針を定め、皆様から頂いた浄財を積み立てたゆめ基金などを財源に、老朽化した獣舎や施設の再整備に取組み、令和3年度から順次、ゴマファザラシ舎プールの改修や、馬ふれあい舎の整備、新キリン舎の改築と東エリアトイレの整備に着手するなど、施設の充実に努めているところです。

今後も、市街地の公園の中にある立地条件や、他の大きな動物園と比較して動物とお客様との距離が近いと言われている利点などを生かして、帯広らしい動物園の運営に努めてまいります。

これまで先輩諸氏が築き上げてくれた「おびひろ動物園」を、これからもお客様にワクワク感を与え続けられる、動物が生き生きと展示される、職員が誇りを持てる動物園を目指して取り組んでまいりますので、これまでと変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、動物園の草創期からこれまで60年間支えていただいた地域の全ての皆様に心より感謝申し上げます。



おびひろ動物園

マップ 2023

南門入口

正門入口



アメリカバイソン

アメリカビーバー

アオダイショウ
クサガメ

アムールトラ
アカカンガルー
コンドル

シロフクロウ
(フクロウ舎)

ライオン

2023.12月から展示
ばん馬

ウツベツ川

ラマ

エゾシカ

ミニチュアホース

リスザル
(新サル舎)

しかのはし
マンドリル
(新サル舎)

チンパンジー
(新サル舎)

カンガルーポケット
(食堂)

ニホンザル
(サル山)

モモイロペリカン

フラミンゴ

クジャクバト

ゴマフアザラシ

コンゴウインコ
インドクジャク(鳥類舎)

【豆汽車】

【観覧車】

【ゴーカート】

植村直己記念館
氷雪の家

おびひろ動物園

ビジターセンター
2023.10月から
供用開始

アライグマ

ホッキョクグマ

アミメキリン

チャップマンシマウマ

ヤギ

(小獣舎)

ちびっこふぁーむ

モルモット

エゾモモンガ

トビ

エゾフクロウ

ブンチョウ

どんぐりのいえ

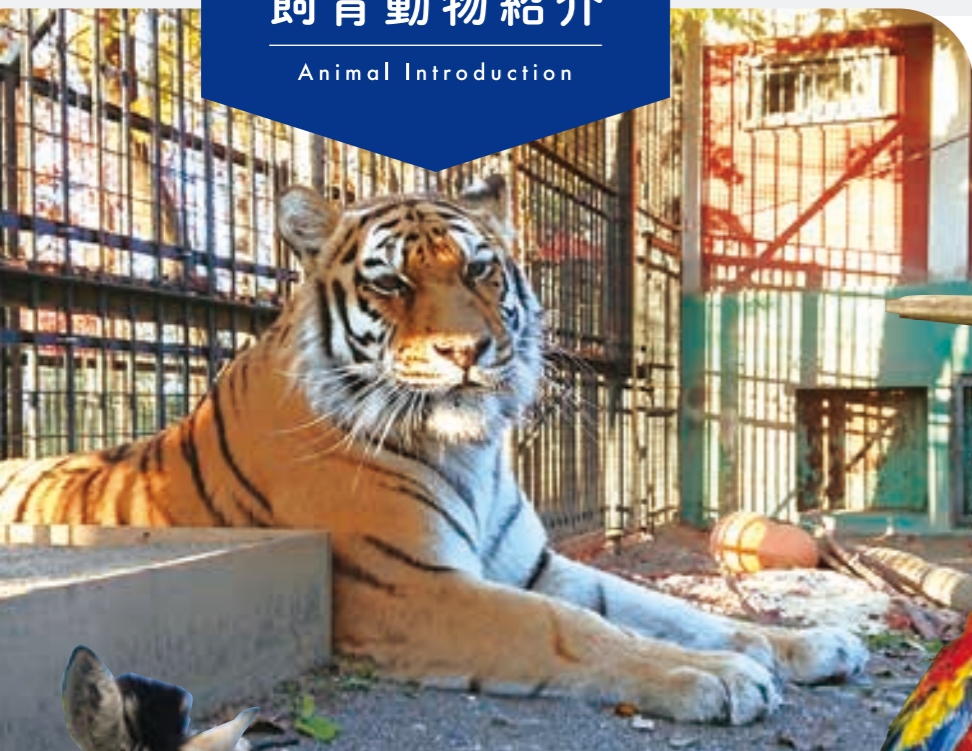
エゾリス

キタキツネ

エゾタヌキ

飼育動物紹介

Animal Introduction



アムールトラ

エゾフクロウ

ブンチョウ

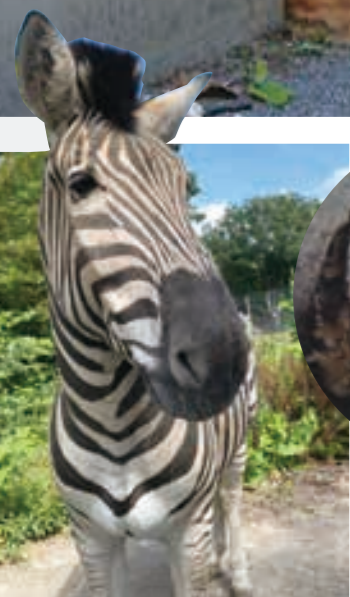
エゾシカ

カナダガン

アメリカ
バイソン

ニホンザル

ライオン



アカコンゴウ
インコ

ヤギ

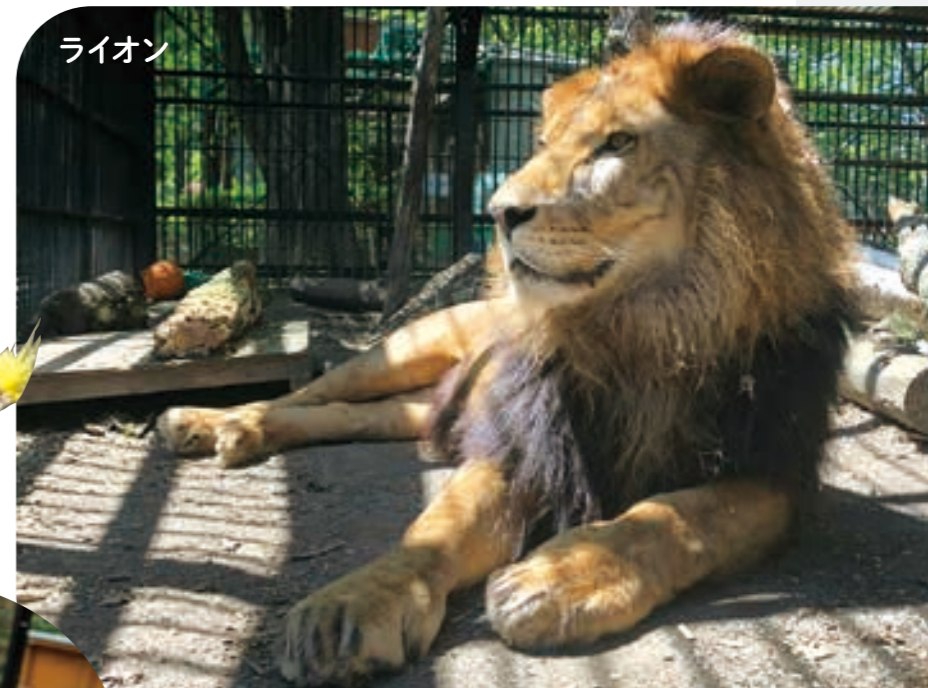


アカカンガルー



シロフクロウ

オカメインコ



トラフズク



ヨーロッパ
フラミンゴ



アメリカビーバー



トビ



モモイロペリカン



インドクジャク



キタキツネ

チャップマンシマウマ

ノスリ



アオダイショウ



ミニチュアホース



チリーフラミンゴ



ホッキョクグマ



ヒツジ



エゾタヌキ



コモン
リスザル



ウサギ

● 飼育動物紹介



チンパンジー



モモアカノスリ



アミメキリン



クジャクバト



マンドリル



モルモット



クサガメ



ベニコンゴウ
インコ



チゴハヤブサ



キバタン



ゴマフアザラシ



アライグマ



ラマ



オシドリ



エゾリス

60th

Obihiro Zoo's History

基本理念

おびひろ動物園は、
楽しみながら
環境を守り、育む大切さを学び、
人間と動物の「命」を感じ、
「命」について考え、
「命」をつなぐ場所を提供します。

Obihiro Zoo | 1960 ▶ 2023



60th

昭和35年 1960年	4月	帯広市動物園建設期成会発足
昭和37年 1962年	6月	小動物飼育開始
	10月	帯広市動物園建設着工
昭和38年 1963年	6月	飼育動物、購入動物を移動
	7月	ライオン♂1頭・♀1頭、札幌市円山動物園より受贈 帯広市動物園開園 開園時の規模48,000㎡ メリーゴーランド、豆汽車運転開始
昭和39年 1964年	1月	ライオンの仔 くる病を発症
	4月	インドゾウ♀「ナナ」、インドより購入
	8月	第1回十勝地区動物画写生コンクール フタコブラクダ♀1頭、周南市徳山動物園より購入
昭和40年 1965年	4月	回転ボード運転開始
	5月	第2回日報動物写生大会（～51年） オオサンショウウオ♂、帯広畜産大学より受贈
	7月	グラントシマウマ♀1頭、周南市徳山動物園より来園
	8月	サマースクール開催（～44年）
	11月	ライオン♂1頭・♀1頭、釧路市より受贈
昭和41年 1966年	1月	全日本学生氷上選手権大会で チンパンジー♂「ターボ」がアイススケートを披露
	4月	ゴーカート運転開始
	9月	ホッキョクグマ♂1頭・♀1頭、ソ連より受贈 グラントシマウマ♂1頭、アフリカより購入
	11月	エゾナキウサギ試験飼育開始
昭和42年 1967年	2月	アイヌ民族儀式「イオマンテ」の記録保存のため、 ヒグマ1頭を提供
昭和43年 1968年	4月	豆汽車自動踏切装置設置 帯広塗装工業組合による塗装奉仕 （以降、毎年実施）



開園前の整地作業



開園当日待ちきれない子どもたち



開園当初の飼育スタッフ



インドゾウが来園
獣舎建設間に合わず仮設獣舎で半年過ごす



チンパンジーのターボがアイススケートを披露

昭和35年▶昭和48年

1960年▶1973年

動物園60年の歩み

昭和43年 1968年	5月	フンボルトペンギン孵化 エゾライチョウ試験飼育開始
	7月	開園5周年記念行事
	10月	ライオン♂1頭を大阪市立動物園へ搬出
	12月	エスキモー犬による犬ぞりレース開始
昭和44年 1969年	4月	敷地拡張53,000㎡
	7月	イギリス「オルニー熱帯鳥類動物園」のエジプトガン とシマフクロウを交換 カバ♀「モグ」、名古屋市東山動物園より来園
	10月	トラの人工哺育成功
昭和45年 1970年	4月	チェアタワー運転開始
	8月	サファリキャンプ開催 フタコブラクダ♂1頭、東京都多摩動物公園より購入
	9月	野外ステージ落成
昭和46年 1971年	4月	敷地拡張71,500㎡
	7月	アミメキリン♂1頭、京都市動物園、アミメキリン♀1頭、 東京都多摩動物公園より購入
	12月	エゾナキウサギの長期飼育（18ヶ月）成功
昭和47年 1972年	4月	グラントシマウマ♀1頭、アフリカより購入
	8月	カバ♂「ダイ」、韓国より来園
	9月	姉妹都市アラスカ州スワード市長夫妻来園
	10月	帯広競翔連合会と共催で300kmの鳩レース大会開催 第1回「動物園で詩をかこう絵をかこうの集い」 （～平成4年）
	12月	アカツクシガモ繁殖賞受賞
昭和48年 1973年	7月	開園10周年記念行事開催 アジアゾウ♀「ノン」、タイより来園 ヘラジカ3頭、姉妹都市アラスカ州スワード市より受贈



初代空中観覧車



昭和46年 アミメキリンが来園



インドゾウのナナと綱引き ナナの圧勝



エゾナキウサギの飼育に挑戦



昭和48年8月 来園者数200万人記念に
クジャクの羽をプレゼント



60th

- | | | |
|----------------|-----|--|
| 昭和49年
1974年 | 2月 | カバ♂誕生 |
| | 4月 | 2代目メリーゴーランド運転開始 |
| | 8月 | 親子サマーキャンプ開催 |
| | 11月 | カバ♀誕生 |
| 昭和50年
1975年 | 12月 | ホッキョクグマ誕生(約60日間生存)、アミメキリン♀誕生 |
| | 1月 | ウィンタースクール開催 |
| | 3月 | グラントシマウマ♂誕生、ローランドゴリラ♂1歳を預託飼育 |
| | 4月 | 3代目豆汽車「弁慶号」運転開始 |
| 昭和51年
1976年 | 7月 | チンパンジー♀「フィフィ」来園 |
| | 9月 | カバ♂「ノロ」誕生 |
| | 4月 | 大空中観覧車運転開始 |
| | 6月 | 北極圏12,000kmを走破したエスキモー犬2頭、探検家植村直己氏より受贈 |
| 昭和52年
1977年 | 10月 | 第1回動物写生画コンクール(以降、毎年開催)アミメキリン♂誕生 |
| | 11月 | 動物園1号橋「イソップ橋」完成 |
| | 12月 | ホッキョクグマ双子誕生(6日間生存) |
| | 1月 | おびひろ氷まつりでの犬ぞりデモンストレーションのため植村直己氏来園 |
| 昭和53年
1978年 | 4月 | エランド預託飼育 |
| | 6月 | カナダアルバータ州エドモントン市長が来園、アメリカビーバー2頭寄贈の申し入れを受ける |



ゴリラを背負っての体重測定



生後半年で来園したアジアゾウのノンは子どもたちともふれあっていた



チンパンジーが来園



植村直己氏より2頭のエスキモー犬が贈られた



札幌市円山動物園よりエランドを預かる



ニホンザルの人工哺育 事務所で授乳することが多い

昭和49年▶昭和53年

1974年▶1978年

動物園60年の歩み

- | | | |
|----------------|-----|--|
| 昭和52年
1977年 | 7月 | カバ♂「ノロ」を宇都宮動物園へ搬出 |
| | 8月 | ニホンザル人工哺育開始 |
| | 9月 | カバ♀誕生
アメリカビーバー2頭、カナダより来園 |
| | 10月 | ローランドゴリラを旭川市旭山動物園へ搬出 |
| 昭和53年
1978年 | 11月 | 動物園2号橋「しかのはし」完成
ホッキョクグマ双子誕生(2日間生存) |
| | 1月 | 第1回犬ぞりレース開催 |
| | 2月 | おびひろ動物園協会発足 |
| | 3月 | 開園15周年記念にアメリカバイソン♂が静岡市立日本平動物園より来園、シェットランドポニーを同園へ搬出 |
| 昭和53年
1978年 | 4月 | カナダより来園したアメリカビーバー♂1頭を釧路市動物園の♀と交換 |
| | 5月 | トビの人工孵化成功 |
| | 7月 | 開園15周年記念行事開催 |
| | 8月 | アミメキリン♂誕生 |
| | 9月 | エゾナキウサギ3頭捕獲、飼育開始 |
| | 10月 | ライオン♀人工哺育開始
アメリカバイソン♀1頭、静岡市立日本平動物園より受贈 |
| | 12月 | 動物園3号橋「かものはし」完成
ホッキョクグマ双子誕生(10日間生存) |



リスザルが集団脱走 園内を捜索中



木造の「しかのはし」現在のカンガルー舎前



おびひろ動物園協会発足



開園15周年記念での動物ショー



アメリカバイソンが来園



60th

昭和54年
1979年

- 1月 グリーンランドを縦断したエスキモー犬「クマ」、植村直己氏より受贈
おびひろ氷まつりで犬ぞりレース開催
- 4月 帯広明るい社会づくり運動協議会主催による清掃奉仕（以降、毎年実施）
ジャングルマウス運転開始
- 7月 アムールトラ♂、神戸市立王子動物園より来園
ニホンザル人工哺育開始
ライオン♂2頭、♀1頭誕生
- 9月 シンリンオオカミのペア、カナダ「エドモント市立バレー動物園」より来園
- 10月 「世界一どうもうな動物（人間）」の檻設置
マンドリル、日本モンキーセンター及び東京都井の頭自然文化園より来園
- 12月 ホッキョクグマ誕生、人工哺育開始（25日間生存）

昭和55年
1980年

- 1月 おびひろ氷まつり参加のため植村直己氏来園
- 3月 おびひろ犬ぞり記録会開催
コンドル、横浜市立野毛山動物園より来園
- 4月 竜巻発生、フラミンゴが翼を骨折
ライオン♂2頭誕生
- 5月 グラントシマウマ♂誕生
- 6月 アミメキリン♂1頭、♀1頭、東京都多摩動物公園より購入
シロフクロウのペア、カナダアルバータ州「カルガリー動物園」より来園
- 7月 ポニー馬車運行



使用していない獣舎を利用した「人間のオリ」



ジャングルマウスを新設 運転開始



死亡したベンガルトラは剥製となって展示された



ホッキョクグマの人工哺育



エゾヒグマの人工冬眠実験



シロフクロウが来園

昭和54年▶昭和56年

1979年▶1981年

動物園60年の歩み

昭和55年
1980年

- 9月 カバ♀誕生
- 10月 公募によりおびひろ動物園のシンボルマークが決まる
- 11月 ホッキョクグマ♀誕生、人工哺育開始（9日間生存）

昭和56年
1981年

- 1月 ヒグマ♂1頭誕生
- 2月 第1回全日本犬ぞり選手権大会に参加
- 3月 コンドル♂「ジャック」♀「ジェーン」、横浜市立野毛山動物園より来園
コンドル♂を千葉県勝浦市へ搬出
- 4月 ニホンザル18頭、大分市高崎山自然動物園より受贈
- 5月 アメリカビーバー、エランド誕生
- 7月 アムールトラ♀、神戸市立王子動物園より受贈
アメリカバイソン♀誕生
- 9月 アカカンガルー3頭、オーストラリアシドニー市「タロンガ動物園」より受贈
カバ♀誕生
- 10月 共同繁殖作戦のため、カンムリワシを沖縄こどもの国へ搬出
- 11月 リスザル舎、こども動物園完成
敷地拡張75,000㎡
- 12月 ホッキョクグマ誕生（3日間生存）



カバ誕生 2回の繁殖に成功



動物園で詩をかこう 絵をかこうの集い



ニホンザルが来園



アメリカビーバー誕生



アカカンガルーが来園



アカカンガルーが来園

60th

昭和57年
1982年

- 1月 植村直己氏の南極大陸犬ぞり旅行に同行するため、4頭のエスキモー犬が動物園を出発
エゾヒグマの双子誕生
- 4月 シンリンオオカミ誕生
グレートポセイドン、コスモジェット運転開始
ニホンイノシシ、開拓姉妹都市松崎町より受贈
- 5月 エランド誕生、トラフズク孵化
- 6月 こども動物園開園
- 8月 エゾシカ2頭を開拓姉妹都市松崎町へ寄贈
産業文化姉妹都市締結を記念し、
エゾヒグマを徳島市へ寄贈
白色のフタコブラクダ「フクちゃん」誕生
日本動物愛護協会よりベンガルトラの
「ヒロコ」が功労動物の表彰を受ける

昭和58年
1983年

- 2月 シンリンオオカミのペアを徳島市立動物園へ寄贈
- 3月 シンリンオオカミのペアを旭川市旭山動物園へ寄贈
共同繁殖のため、アメリカビーバー♀を
名古屋市東山動物園へ搬出
ホッキョクグマを新獣舎に移動
ニホンイノシシ1頭、開拓姉妹都市松崎町より受贈
- 4月 植村直己氏が南極旅行の報告に南極で誕生した
エスキモー犬2頭とともに来園
シンリンオオカミ誕生
- 5月 アメリカビーバー誕生、
人工哺育開始（12日間生存）
- 6月 仙台市動物園より寄贈されたグラントシマウマ♀が
到着後まもなく死亡



昭和57年 エゾヒグマの双子誕生



グレートポセイドンが新設され遊具が大型化



エランド誕生



昭和57年6月5日
ふれあいを目的にこども動物園がオープン



イノシシが来園



植村直己氏と南極生まれの2頭のエスキモー犬来園

昭和57年▶昭和59年

1982年▶1984年

動物園60年の歩み

昭和58年
1983年

- 7月 開園20周年記念式典
- 8月 ベンガルトラ「ヒロコ」推定21歳で死亡
- 9月 白色のフタコブラクダ「フクちゃん」死亡
- 10月 エランド誕生
カバ♀1頭を搬出
- 11月 エゾシカを開拓姉妹都市松崎町へ寄贈
フタコブラクダ♀1頭、札幌市円山動物園より来園
フタコブラクダ♂1頭を旭川市旭山動物園へ搬出

昭和59年
1984年

- 1月 エゾヒグマの双子誕生
- 3月 マッキンリー単独登頂後消息不明の
植村直己氏の捜索打ち切り日に
エスキモー犬「イグルー」死亡
- 4月 共同繁殖のため、オオサンショウウオ17点が
広島市安佐動物公園より来園
エスキモー犬「イグルー」の剥製完成
グラントシマウマ♂1頭を搬出
グラントシマウマ♀1頭、東京都恩賜上野動物園より来園
2代目大空中観覧車運転開始
- 5月 アメリカバイソン♀誕生
- 6月 カリフォルニアアシカ誕生
- 7月 親子サマーキャンプ開催
- 12月 植村直己記念館「氷雪の家」完成
ホッキョクグマ誕生（3日間生存）



ベンガルトラのヒロコは、当時長寿日本一



白色のフタコブラクダ人工哺育



白色のフタコブラクダ フクちゃん



今も続いている開園前の清掃奉仕



動物園のシンボル 大空中観覧車が運転開始



植村スピリットを伝える
「氷雪の家」が開館

60th

昭和60年
1985年

- 3月 ライオン♂1頭、釧路市動物園より来園
- 4月 チャップマンシマウマ♂「ロビン」・♀「メリー」、富士サファリパークより来園
グラントシマウマ最後の2頭搬出
- 5月 ノスリ孵化（日本動物園水族館協会より繁殖賞受賞）
シベリアヘラジカ♂「テリー」・♀「モーラ」、中国黒龍江省より来園
- 6月 映画「植村直己物語」を撮影
アカカンガルーのペアを文化産業姉妹都市の徳島市立動物園へ寄贈
- 7月 アメリカバイソン♂「マミー」誕生
サファリキャンプ開催
- 12月 アミメキリン♂誕生

昭和61年
1986年

- 4月 ライオン♂「おやじ」来園
- 6月 アメリカバイソン♂誕生、コンドル孵化、
チャップマンシマウマ♂誕生
- 7月 カリフォルニアアシカ誕生
フタコブラクダ♂「ラッタ」、秋田市大森山動物園より来園
サファリキャンプ開催
親と子の写生会と紙ねんどで動物をつくる集い
モモイロペリカンのペア来園
- 8月 エスキモー犬「アンナ」の剥製完成、氷雪の家で展示開始
- 9月 アメリカバイソン誕生

昭和62年
1987年

- 4月 マゼランペンギン4羽来園、交換でアミメキリン1頭を搬出
アメリカバイソン♂1頭、♀1頭を釧路市動物園へ寄贈
- 5月 シベリアヘラジカ♀「ラン」誕生
- 7月 ニホンザルの人工哺育開始
アミメキリン♂誕生
アメリカバイソン♂誕生
- 11月 アミメキリン♂1頭を愛媛県立とべ動物園へ搬出

昭和63年
1988年

- 4月 チャップマンシマウマ♀誕生
コモンマーモセットのペア来園
- 6月 シベリアヘラジカ♂「大地」誕生
アメリカバイソン♂「リオ」誕生



サファリキャンプで火おこしに挑戦



シベリアヘラジカが来園



動物を計る会 ヘリカンの大きな口を計測



この頃、アミメキリンは5頭の大家族



バスに乗って遠方で探鳥会



チャップマンシマウマ誕生



シベリアヘラジカ誕生

昭和60年▶平成5年

1985年▶1993年

動物園60年の歩み

昭和63年
1988年

- 8月 植村直己氏の犬ぞりチームリーダーのエスキモー犬「クマ」死亡
- 10月 コモンマーモセット誕生
アメリカバイソン♂1頭を盛岡市動物公園へ寄贈
- 11月 共同繁殖のため、シベリアヘラジカ♂「ヤンヤン」が
川崎市夢見ヶ崎動物公園より来園
- 12月 アミメキリン♀「ユキ」誕生

平成元年
1989年

- 2月 シロフクロウ♀「シロちゃん」、宝塚ファミリーランドより来園
- 3月 共同繁殖のため、シベリアヘラジカ♂「大地」を
秋田市大森山動物園へ搬出
- 5月 フタコブラクダ♂「ボス」誕生
- 6月 スーパーチェア運転開始
ヤクシマヤギ2頭、徳島市立動物園より受贈
- 8月 よるの動物園初開催（以降、毎年開催）

平成2年
1990年

- 3月 チャップマンシマウマ♀誕生（1日間生存）
- 4月 豆汽車踏切装置設置の鈴木強氏が
科学技術庁長官より「創意工夫功労者表彰」を受賞
- 6月 シベリアヘラジカの双子♀2頭誕生
アミメキリン♀誕生

平成3年
1991年

- 3月 シベリアヘラジカ♀「エル」を愛媛県立とべ動物園へ寄贈
モモイロペリカン♀来園
- 4月 チャップマンシマウマ♀誕生
- 5月 ライオン♀「かあさん」来園
- 6月 シベリアヘラジカ♀「ヘレン」誕生
- 9月 ライオン♂「キング」・♂「ドラゴン」・♀「エルザ」誕生
- 11月 アミメキリン♀誕生

平成4年
1992年

- 5月 シベリアヘラジカの双子♀2頭誕生
- 7月 アメリカバイソン誕生
- 10月 ホッキョクグマ♂「スバル」・♀「サツキ」、
アメリカ「メトロパーク動物園」より購入

平成5年
1993年

- 3月 ゴマファザラシ♂「カイ」誕生
- 4月 アミメキリン♂誕生
- 5月 カリフォルニアアシカ♂「タケル」、桂浜水族館より購入
チャップマンシマウマ♀誕生
- 7月 アメリカバイソン♀「ステッファー」誕生
- 10月 アメリカビーバー♀「ポピー」、ドイツより購入



キリンの伸びすぎた蹄をノコギリで治療



サマースクール的一幕 ソウを観察しながら問題を解く



ゴールデンウィークに多くの入園者に見守られながらボス誕生



平成元年より続くよるの動物園



平成3年1月 一晩で92cmの大雪



ホッキョクグマ2頭が来園



ゴマファザラシ誕生



Obitune Zoo | Chronology



60th

平成6年
1994年

- 3月 ゴマフアザラシ誕生 (50日間生存)
- 4月 カリフォルニアアシカ♀「セイカ」来園
- 6月 チャップマンシマウマ♀2頭を名古屋市東山動物園へ搬出
シベリアヘラジカ♂「マック」誕生
シベリアヘラジカ♂「クレフ」・♀「レイラ」の双子誕生
- 9月 ライオン♂「キング」を釧路市動物園へ搬出
- 10月 アミメキリン♀誕生
- 11月 シベリアヘラジカ♀「ポロ」、川崎市夢見ヶ崎動物公園より来園 交換で♀「ヘレン」を搬出

平成7年
1995年

- 4月 2代目大空中観覧車塗装
あべ弘士原画展
- 5月 シベリアヘラジカ誕生 (2日間生存)
- 6月 チャップマンシマウマ♂「ロック」誕生
- 10月 アカカンガルー人工哺育開始 (3日間生存)

平成8年
1996年

- 2月 アジアゾウ♀「ノン」死亡
シロフクロウ♀、広島市安佐動物公園より来園
- 3月 アジアゾウ♀「ノン」の骨を足寄町教育委員会へ預託
アミメキリン♂誕生
- 6月 シベリアヘラジカ♀を
川崎市夢見ヶ崎動物公園へ搬出
- 7月 ポリビアリスザル1頭、
川崎市夢見ヶ崎動物公園より来園
- 9月 オシドリ3ペア、札幌市円山動物園より来園

平成9年
1997年

- 3月 ニホンザル皮膚病蔓延
- 4月 エゾフクロウ2羽、クジャクバト10羽を
オホーツク水族館へ搬出
- 5月 エゾフクロウ孵化、エゾモモンガ誕生



チャップマンシマウマの誕生が続き、東山動物園に移動



アジアゾウを2頭飼育していた頃



あべ弘士原画展



まだ目もあいていないアカカンガルー人工哺育



ニホンザルが皮膚病により脱毛蔓延



カリフォルニアアシカ誕生

平成6年▶平成11年

1994年▶1999年

動物園60年の歩み

平成9年
1997年

- 6月 ニホンザル誕生、人工哺育開始
- 7月 アミメキリン♂「キリマル」、秋田市大森山動物園より来園
アミメキリン♀「チェリー」を宇都宮動物園へ搬出
- 8月 アメリカバイソン♀「レベッカ」誕生
- 9月 「トラックの日」を記念し、十勝地区トラック協会より
入場券を2,000人にプレゼント
- 10月 エキノコックス症でニホンザル死亡
- 11月 アメリカワシミズク♂「おんこ」・♀「めんこ」、
札幌市円山動物園より受贈

平成10年
1998年

- 1月 ニホンザルのエキノコックス症検査
- 3月 アムールトラ♂「ストロング」、名古屋市東山動物園より来園
- 7月 チャップマンシマウマ♂「ストライプー」誕生

平成11年
1999年

- 3月 ニホンザル10頭、釧路市動物園より受贈
- 4月 アザラシ舎南側東屋完成
正門駐車場と南門券売所に動物看板を設置
- 6月 アメリカバイソン♀「ポポ」誕生
- 8月 モモイロペリカン♀「ペリ」来園
- 9月 正門駐車場、南門券売所の動物看板が
北海道屋外広告物コンクール公共部門の3位になる
エゾリス2頭をのぼりべつクマ牧場へ搬出
- 10月 マンドリル♀「ニイニイ」、東京都恩賜上野動物園より来園
- 11月 アミメキリン♂「ムサシ」、東北サファリパークより来園



おやこ動物園教室ではキリンの間近で動物解説



サタデークラブでニホンザルの好物調査



アメリカワシミズクが来園



アムールトラが来園



珍しいキタキツネの黒色個体を保護・飼育



駐車場に建設された動物園サインは
北海道屋外広告物コンクール公共部
門で3位に入賞した

60th

平成12年
2000年

- 2月 鉛中毒のトビ4羽を釧路湿原野生生物保護センターへ搬出
- 5月 キリン舎北側東屋完成
アメリカワシミズク孵化
- 7月 エゾリス2頭を釧路市動物園へ搬出
- 9月 ニジキジ♀、札幌市円山動物園より来園
トナカイ2頭、釧路市動物園より来園
エゾシカ♂、エゾタヌキを札幌市円山動物園へ搬出
- 11月 新D型倉庫完成

平成13年
2001年

- 3月 ピグミーヤギ♂「トカチ」・♀「すず」、インドクジャク♂、盛岡市動物公園より来園
スケート芸などで活躍していたチンパンジー♂「ターボ」39歳で死亡
鳥類舎完成
- 4月 建設部から教育委員会へ所管換え、国内で初めて動物園が単独で教育委員会所管となる公式ホームページ開設
- 5月 飼料用冷凍庫完成
- 6月 アメリカバイソン♀「メアリー」誕生、人工哺育開始
- 7月 チャップマンシマウマ♀「シャンティ」誕生
- 8月 アカカンガルー3頭搬出
ピグミーヤギ♀「ローラ」誕生
アメリカワシミズク2羽をアドベンチャーワールドへ搬出
アメリカバイソン♂「ドルトン」誕生
- 10月 エゾリス2頭を旭川市旭山動物園へ搬出
チンパンジー♂「リキ」、ハヤブサ♀、旭川市旭山動物園より来園
- 12月 トイレ2棟完成



冬の裏側探検隊でヘラジカの角をかぶる子ども達



ニジキジが来園



往年のターボは貫禄も十分



飼育員からのヨーグルトを待つマンドリルのニイニイ



アメリカバイソン誕生



ピグミーヤギの仔、こっそりお散歩

平成12年▶平成14年

2000年▶2002年

動物園60年の歩み

平成14年
2002年

- 3月 ピグミーヤギの双子♂「クッキー」・♀「カノ」誕生
サル山でピグミーヤギ♂を同居
フラミンゴ10羽来園
動物脱出対応訓練
- 4月 カリフォルニアアシカ搬出
- 5月 トビ孵化、カナダガン孵化（人工育雛開始）
アメリカバイソン♂「たいよう」誕生
- 6月 ピグミーヤギ♂「ぴっくー」誕生
- 7月 アメリカバイソンの人工哺育に対し
日本動物園水族館協会より繁殖賞受賞
- 8月 チンパンジー♂「コウタ」・♀「ヤワラ」、宮崎市フェニクス自然動物園より来園
アメリカビーバー♂「ビービー」、釧路市動物園より来園
チャップマンシマウマ♂「チャッキー」誕生
北海道大学へシマスカルクを研究材料として提供
- 9月 アメリカバイソン♀「ポポ」、ピグミーヤギ♀を釧路市動物園へ搬出
- 10月 台風21号被害のため臨時休園
- 11月 オジロワシ1羽、オホーツク水族館より来園



サル山でピグミーヤギとニホンザルの混合飼育



キリンとシマウマの混合飼育（シマウマの♀は出産間近）



アメリカバイソンの人工哺育で繁殖賞受賞



アメリカバイソン移動作業



チンパンジーが来園



希少種のシマフクロウを保護



60th

平成15年
2003年

- 1月 カンガルーポケット完成
- 2月 北海道教育委員会より博物館相当施設の指定を受ける
- 3月 オジロワシ野生復帰研究会と共同で追跡用アンテナ設置
- 4月 ゴマフアザラシ♀「モモ」、広尾水族館より来園
モモイロペリカン♂「カン」来園
- 5月 帯広百年記念館と共催で探鳥会
アメリカバイソン誕生
- 7月 開園40年記念入園無料、特別講座開催
- 8月 アメリカバイソン誕生
こども動物園工事開始
- 9月 帯広畜産大学へ研究材料としてアメリカバイソンを提供
台風14号により園内倒木、臨時休園
十勝沖地震発生、ペリカン舎、オシドリ舎放飼場、
園路に被害あり
- 11月 サル山にいたピグミーヤギ♂をこども動物園へ移動
- 12月 動物脱出対応訓練
どんぐりのいえ完成

平成16年
2004年

- 6月 カリフォルニアアシカ♂「カイト」誕生
- 11月 アカカンガルーを盛岡市動物公園へ搬出
キタキツネ、エゾタヌキ、アライグマを犬舎から小獣舎へ移動
ミニチュアホース♂「ポーリー」・♀「モコ」来園
- 12月 ちびっこふぁーむ完成



オジロワシにアンテナを装着して追跡調査



モモイロペリカンが来園



開園40周年記念で入園無料



開園40周年イベント 親子で工作教室



台風による強風のため木が倒れ、臨時休園



間近で動物を見ることができる「どんぐりのいえ」がオープン



ミニチュアホース 2頭が来園

平成15年▶平成19年

2003年▶2007年

動物園60年の歩み

平成17年
2005年

- 4月 年間パスポート導入
- 6月 アメリカワシミズク2羽を盛岡市動物公園へ搬出
カリフォルニアアシカ♀「カイリ」誕生
- 7月 空中観覧車ゴンドラ交換
- 11月 フラミンゴ舎建て替え工事のためフラミンゴを移動させる
シベリアヘラジカ最後の1頭死亡♀「レイラ」

平成18年
2006年

- 3月 新フラミンゴ舎完成
- 4月 インドクジャク、ウサギ2羽を釧路市動物園へ搬出
- 6月 カリフォルニアアシカ♀「ヒロミ」誕生
- 7月 園内にAED設置
ゾウ舎寝室工事開始
- 9月 ベニイロフラミンゴ5羽来園
カリフォルニアアシカ♂「カイト」を中国へ搬出
- 11月 ミニチュアホースを旧シベリアヘラジカ舎へ移動
クジャクバト、オシドリ、ペリカンの新獣舎建設開始
エゾシカ4頭、鹿追町より来園

平成19年
2007年

- 2月 ホッキョクグマ♀「ピリカ」、札幌市円山動物園より来園
- 3月 クジャクバト、オシドリ、ペリカンの新獣舎完成
- 4月 入園案内パンフレット、社団法人帯広自動車学園より受贈
(以降、毎年受贈、平成20年より帯広自動車学校に経営継承)
- 5月 アメリカワシミズク孵化
- 6月 フレミッシュジャイアントのペア、
札幌市円山動物園より来園
フタコブラクダ♀「チビ」、旭川市旭山動物園より来園
マンドリル♂「キーボー」、釧路市動物園より来園
- 7月 ホッキョクグマ♀「サツキ」を札幌市円山動物園へ搬出
- 9月 空中観覧車緊急脱出訓練
- 10月 カリフォルニアアシカ♀「カイリ」を長野市城山動物園へ搬出
- 11月 動物脱出対応訓練
- 12月 オジロワシ♂「マルオ」、オシドリのペア、
釧路市動物園より来園



ウサギ、モルモットの出張ふれあい体験



年間パスポートの発売で入園者が増加傾向



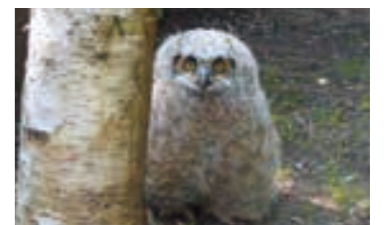
長年にわたっての帯広塗装工業協同組合による奉仕活動



アメリキンの交尾 残念ながらユキとムサシは子室にめぐまれません



園内で栽培しているブドウを収穫して動物に給餌



アメリカワシミズクのヒナ



マンドリルが来園

Obihiro Zoo | Chronology

60th

平成20年
2008年

- 1月 公式ブログ開始
- 2月 「わくわく動物園ツアー」道立帯広美術館と共催
- 3月 アカカンガルー6頭を盛岡市動物公園へ搬出
- 4月 エゾタヌキ、滝川どうぶつらんどより来園
- 6月 新サル舎完成
コモンリスザル7頭、札幌市円山動物園より来園
- 7月 ウォーターショット運転開始
「調べてみよう動物のこと」
帯広市図書館と共催（以降、毎年開催）
- 8月 アザラシ舎改修工事
- 10月 オンドリペア、盛岡市動物公園より来園
カリフォルニアアシカ♀「ヒロミ」を
インドネシア「タマンサファリ」へ搬出
- 11月 マンドリル舎解体
- 12月 今シーズンより12月から翌年2月までの週末に
冬期閉園を実施
エゾリス1頭を釧路市動物園へ搬出



真冬のアザラシプールはヒゲも凍りつく



チンパンジー・マンドリル・リスザルを飼育する「新サル舎」がオープン



来園したコモンリスザルは好奇心旺盛



「ウォーターショット」新設 運転開始



ホッキョクグマの性別判定



安全対策のためエゾシカの角きり

平成20年▶平成21年

2008年▶2009年

動物園60年の歩み

平成21年
2009年

- 2月 シロフクロウペア来園
「アイヌ語で動物園かんさつ」
帯広百年記念館と共催
- 4月 公式ホームページをリニューアル
- 5月 アザラシ舎改修工事
- 6月 カリフォルニアアシカ♂「チビスケ」誕生
（6日後、母親死亡により人工哺育開始）
保護されたキタキツネの仔3頭を小獣舎で展示開始
ヒツジ、エゾタヌキ、コモンリスザル、
札幌市円山動物園より来園
- 7月 正門駐車場から正門までの道路に
動物の足跡ペイント（以降、毎年実施）
海の日イベント（以降、毎年実施）
空中観覧車緊急脱出訓練
- 8月 東宝系映画「ウルルの森の物語」撮影
帯広畜産大学との共同研究「エゾシカ避妊ワクチン開発」
- 10月 正門改築工事のため臨時正門へ正門機能を移動
- 11月 ゾウ舎にフットホール設置
キタキツネ2頭、ヨーロッパフラミンゴ4羽を
旭川市旭山動物園へ搬出



シロフクロウのペアを導入



アザラシの移動作業



母アシカの急死により人工哺育開始



保護された3頭のキタキツネの幼獣



新しいフラミンゴ舎ではヨーロッパフラミンゴの繁殖が順調



旧正門 長く動物園の顔として来園者を出迎えた



60th

平成22年
2010年

- 1月 観光文化姉妹都市の徳島市から届いたミカンを
来園者へ無料配布(親善交流課)
- 2月 「アイヌ語で動物園かんさつ」帯広百年記念館と共催
植村直己「栄光の軌跡」パネル展を市民ホールで開催
ホッキョクグマ♀「ピリカ」を札幌市円山動物園へ搬出
ホッキョクグマ♂の双子「イコロ・キロル」、
札幌市円山動物園より来園
動物園センター建設工事開始
新正門完成、引き渡し
- 3月 ちびっこふぁーむのヤギ、ヒツジにヨーネ病の検査を実施
ピグミーヤギ♀「ローラ」が陽性
- 4月 ヤギ、ヒツジ
ヨーネ病疑似患畜発生
ちびっこふぁーむ防疫対応・消毒
動物園センター完成、引き渡し
- 6月 ミニチュアホース交配
- 7月 おびひろ動物園・帯広畜産大学連携協定式
十勝総合振興局によるアライグマの採餌実験
発泡スチロール協会よりシロクマキャンペーンで
魚プレゼント(以降、毎年実施)
- 8月 オオサンショウウオ最後の1頭死亡、
飼育歴国内最長記録
おびひろ動物園とコープさっぽろの協働事業がスタート
4園館連携事業企画展「シカ笛を作ろう」開催
- 10月 アミメキリン♀「リボン」、盛岡市動物公園より来園
- 12月 アムールトラ♂「タツオ」、札幌市円山動物園より来園



アイヌ語で動物園かんさつ 北海道産動物と
アイヌ文化との関わりを解説



植村直己生誕70年パネル展 冒険家としての
軌跡、おびひろ動物園との思い出を紹介



ホッキョクグマの双子が来園



新正門完成



おびひろ動物園協会から寄贈された動物園セン
ター レクチャールームを備えた総合施設



海の日イベントでチンパンジーに
エサ入り氷をプレゼント



帯広畜産大学と連携協定を締結



アムールトラが来園

平成22年▶平成23年

2010年▶2011年

動物園60年の歩み

平成23年
2011年

- 2月 植村直己生誕70年パネル展を市民ギャラリーで開催
ホッキョクグマ繁殖プロジェクト共同声明発表
「アイヌ語で動物園かんさつ」帯広百年記念館と共催
アイヌ民族博物館より講師を迎え
シカ笛ワークショップ開催
- 3月 ホッキョクグマ♀「ピリカ」(おびひろ動物園所有)が
札幌市円山動物園から旭川市旭山動物園へ移動
ホッキョクグマ♂「キロル」を浜松市動物園へ搬出
東日本大震災 帯広震度4 園内被害なし
- 4月 ヤギ♀「カフェ」・♂「ラテ」、更別村上更別より来園
ヤギ♀「ユズ」・♀「くるみ」、ヒツジ♀「モカ」・♀「わた」、
十勝千年の森より来園
- 5月 9年ぶりにエゾモンガ誕生
キリン放飼場にニセアカシア植栽
企画展イベント「実は身近なコウモリたち」開催
- 6月 帯広畜産大学がアカカンガルーのDNA検査のため採毛
コモンリスザル誕生、人工哺育開始
- 7月 ヤクシカ最後の1頭死亡♀「ピーちゃん」
ミニチュアホース♀「ポコリン」誕生
清水町で捕獲されたアライグマ♂「マル」来園
- 8月 誘導看板4基、解説パネル1面、生活協同組合コープ
さっぽろより受贈(以降、毎年寄附金や物品を受贈)
- 9月 ヒツジパドックに小屋を設置
オオサンショウウオの液浸標本作製、
動物園センターに展示
- 11月 いきものジャンボかるたとり開催
インドクジャク1羽、クジャクバト4羽、
滝川どうぶつランドより来園
エゾシカ♀2頭を札幌市円山動物園へ搬出
ラマ♂「雪丸」、帯広畜産大学より来園
- 12月 飼育員による写真展開催(以降、毎年開催)
コモンリスザルでトキソプラズマ症が発生



植村直己生誕70年パネル展を開催



シカ笛をつくろう・ならそう
アイヌの伝統的なシカ笛を体験



ちびっこふぁーむにヤギ4頭が来園



キリン放飼場にニセアカシア植栽



多くのファンがいたヤクシカのピーちゃん
23歳大往生



ミニチュアホース誕生



敬老の日イベント
カバのダイにオカラケーキをプレゼント



ラマが来園



Obihiro Zoo | Chronology



平成24年

2012年

動物園60年の歩み

平成24年
2012年

- 1月 雪中ジャンボかるたとり開催
- 2月 「アイヌ語で動物園かんさつ」帯広百年記念館と共催
ホッキョクグマ♀「アイラ」、
札幌市円山動物園より来園
- 4月 遊具施設事故等対策訓練
- 5月 エゾリス3頭誕生
「動物園で植物かんさつ」帯広百年記念館と共催
アミメキリン♂「スカイ」誕生
- 6月 動物園セミナー「らくだのこと教えて」
シロフクロウ孵化
- 7月 アカカンガルー舎の外放飼場にカーポート設置工事
インドクジャク人工孵化
コモンリスザル誕生
- 8月 企画展イベント「へんな虫・すごい虫～昆虫のみみつ」開催
出前授業「ピーちゃんからのメッセージ」開始
帯広畜産大学によるエゾシカの
糞中ホルモン調査のための採材開始
- 10月 食べる・たいせつフェスティバル参加（以降、毎年参加）
危険動物脱出避難訓練
- 11月 いきものジャンボかるたとり開催
企画展イベントでホワイトコーヒーを
5,000杯無料配布
帯広畜産大学のエゾシカ光忌避調査
- 12月 アムールトラ♂「タツオ」を
札幌市円山動物園へ搬出
4園館連携事業「シカ笛をつくろう・ならそう」開催



寒い冬に雪中ジャンボかるたとり大会を開催



ホッキョクグマが来園



動物園で植物かんさつ
園内では絶滅危惧種の自生が確認された



アミメキリン誕生



孵卵器でインドクジャクのヒナが孵化



出前授業では子どもたちも真剣



危険動物脱出避難訓練を実施

50周年記念事業開催



みんなのおもいで写真展

「みんなのおもいで写真展」

ご来園者の皆様から提供していただいた写真を中心に、おびひろ動物園の50年を振り返りました。思い出の詰まった多数の写真とともに、撮影された当時の園内の様子などもあわせて展示しました。

「回想法」

回想法とは、主に高齢者を対象に人生の歴史や思い出を回想しながら、脳や五感を刺激する心理療法で認知症予防などにも用いられます。50周年事業のなかで、多くの古い資料が発掘され、それを元に回想法を行いました。帯広さくらライオンズクラブの皆様にご協力をいただきました。

Obihiro Zoo 50th Anniversary

2013年7月13日
開園50年の誕生日を迎えました!

「動物園の未来を語ろう会」

記念講演として
大阪芸術大学環境デザイン学科の若生謙二氏による「動物園での生態環境展示」
環境省釧路湿原野生生物保護センター 獣医師 齊藤慶輔氏による「希少猛禽類の保護や動物園との協同で実施している繁殖の試み」
帯広畜産大学 教授 柳川久氏による「動物園でできる研究」「動物園でしかできない研究」
おびひろ動物園の未来について貴重なお話をいただきました。



「50周年記念誌発行」

動物園の未来を語ろう会



ここからさらに10年…振り返ってみよう!

次ページへ▶▶▶